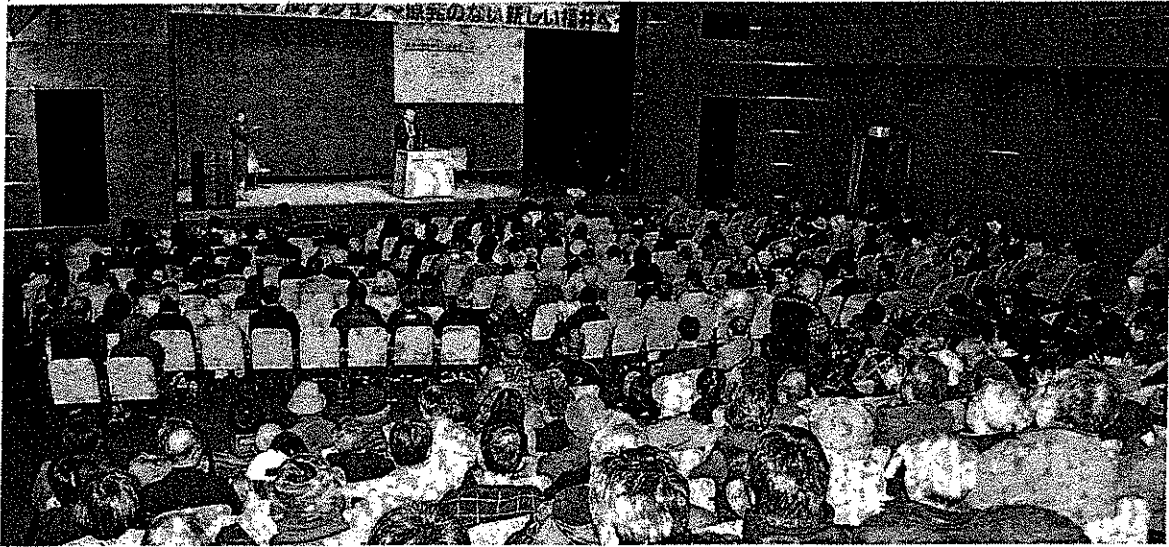


# 平和な社会をめざす

## 福井

福井県では、福井市で集会とパレードが実施され、県内外から約500人が参加しました。原発のない平和な社会をめざす集会アピ

吉岡斉・九州大学教



原発のない福井をめざして開かれた集会＝11日、福井市

授と小野一・工学院大  
学准教授が講演。吉岡  
氏は「原発は怖いだけ  
でなく能力が低く、例  
えばコスト的に非常に  
問題を抱えている」と  
指摘し、「(国が)無理  
に(原発を)『介護』す  
るより、お引き取り願  
おう」と述べました。

福島県浪江町から兵  
庫県に避難している年  
金生活の女性は、この  
6年間を「塗炭の苦し  
み」として「原発に反  
対することは政治的な  
偏りでしょうか。反対  
するのは暮らしの当た  
り前の要求です」と訴  
えました。

リレー形式で5人が  
発言し、福井から原発  
を止める裁判の会の嶋  
田千恵子事務局長は、  
関西電力大飯原発をめぐ  
る控訴審(名古屋高  
裁金沢支部)で行う島  
崎邦彦・元原子力規制  
委員長代理の証人尋問  
にふれ、「4月24日は  
金沢(支部)に集まろ  
う」と訴え、高浜町の  
東山幸弘さんは「原発  
に頼っていても未来は  
ない」と述べました。